

論 文

- 1) Qian, Y., Okano, K., Kodato, M., Arai, M., Yanagiya, T., Li, Q., Amano, C., Ruike, K., Itayama, T., Iwami, N., Utsumi, M., Lei, Z., Zhang, Z., Sugiura, N., Shimizu, K. (2021) Dynamics of the prokaryotic and eukaryotic microbial community during a cyanobacterial bloom. *Bioscience, biotechnology, and Biochemistry* zbab179, <https://doi.org/10.1093/bbb/zbab179>.
- 2) Sugawara, K., Fujibayashi, M., Okano, K., Enda, Y., Ichinoseki, S., Taniguchi, Y., Miyata, N. (2021) Assimilation of cyanobacteria by the freshwater bivalve *Nodularia douglasiae*: insights from long-term laboratory and field feeding experiments, *Journal of Water and Environment Technology*, 19, 74-84.
- 3) Madokoro, H., Kiguchi, O., Nagayoshi, T., Chiba, T., Inoue, M., Chiyonobu, S., Nix, S., Woo, H., Sato, K. (2021) Development of Drone-Mounted Multiple Sensing System with Advanced Mobility for In Situ Atmospheric Measurement: A Case Study Focusing on PM<sub>2.5</sub> Local Distribution, *Sensors*, 21 (14) , 1-31.
- 4) Hayakawa, A., Ota, H., Asano, R., Murano, H., Ishikawa, Y., Takahashi, T. (2021) Sulfur-based denitrification in streambank subsoils in a headwater catchment underlain by marine sedimentary rocks in Akita, Japan. *Front. Environ. Sci.*, doi: 10.3389/fenvs.2021.664488.
- 5) Hayakawa, A., Shiraiwa, Y., Murakami, N., Murayama, Y., Ishida, T., Ishikawa, T., Takahashi, T. (2021) Influence of surface geology on phosphorus export in coastal forested headwater catchments in Akita, Japan. *Soil Sci. Plant Nutr.*, DOI: 10.1080/00380768.2021.1890987.
- 6) Hayakawa, A., Funaki, Y., Sudo, T., Asano, R., Murano, H., Watanabe, S., Ishida, T., Ishikawa, Y., Hidaka, S. (2020) Catchment topography and the distribution of electron donors for denitrification control the nitrate concentration in headwater streams of the Lake Hachiro watershed. *Soil Sci. Plant Nutr.*, 66, 6, 906-918.
- 7) 新田真弓, 藤林恵, 青森壮汰, 岡野邦宏, 宮田直幸 (2020) 八郎湖におけるワカサギのゾウミジンコに対する捕食の有無と選択性の評価, 土木学会論文集G (環境), 76, 7, III\_1-9.
- 8) Okano, K., Shimizu, K., Saito, T., Maseda, H., Utsumi, M., Itayama, T., Sugiura, N. (2020) Draft genome sequence of the microcystin-degrading bacterium *Novosphingobium* sp. strain MD-1, *Microbiology Resource Announcements*, 9 (12), e01413-19, DOI: 10.1128/MRA.01413-19.
- 9) Fujibayashi, M., Takakai, F., Masuda, S., Okano, K., Miyata, N. (2020) Effects of restoration of emergent macrophytes on the benthic environment of the littoral zone of a eutrophic lake, *Ecological Engineering*, 155, 105960, DOI: 10.1016/j.ecoleng.2020.105960.
- 10) 間所洋和, 井上誠, 永吉武志, 千葉崇, 芳賀ゆうみ, 木口倫, 佐藤和人 (2020) 二酸化炭素の鉛直プロファイルを現地観測するドローンシステムの試作開発と飛行試験, 計測自動制御学会論文集, 56 (2), 37-44.
- 11) 谷口吉光, 竹林優磨, 鎌田洋平 (2020) 八郎湖流域における環境学習の到達点と課題: 環境学習を受講した中学生・高校生へのアンケート調査の結果から, 八郎湖流域管理研究, 5, 19-34.
- 12) 菅原巧太朗, 藤林恵, 遠田幸生, 荒木美穂, 岡野邦宏, 宮田直幸 (2019) 富栄養化湖沼の浅い沿岸域における藍藻類の日周鉛直移動と栄養塩動態の関係, 日本水処理生物学会誌, 55, 49-57.
- 13) Fujibayashi, M., Ashino, M., Okano, K., Miyata, N. (2019) Spatial and seasonal variability of sedimentary organic matter and its origin in an algal-blooming eutrophic lake. *Ecological Indicator*, 107, DOI: 10.1016/j.ecolind.2019.105557.
- 14) Fujibayashi, M., Miura, Y., Sukanuma, R., Takahashi, S., Sakamaki, T., Miyata, N., Kazama, S. (2019) Origin of carbon and essential fatty acids in higher trophic level fish in headwater stream food webs. *Biomolecules*, 9, 487, doi:10.3390/biom9090487.

- 15) 藤林恵, 珍田尚俊, 宮田直幸 (2019) 八郎湖に生息するシジミ類の秋季におけるろ過速度と酸素消費速度, 日本水処理生物学会誌, 55, 59-65.
- 16) 吉田亨, 藤林恵, 田中仁志, 岡野邦宏, 高田芳博, 宮田直幸 (2019) 富栄養湖沼における若年個体が少ないイシガイ個体群の再生産状況, 土木学会論文集G (環境), 75, 7, III 264-273.
- 17) 青森壮太, 藤林恵, 岡野邦宏, 高田芳博, 宮田直幸 (2019) 脂肪酸組成を指標とした小型甲殻類のアオコ形成藍藻類に対する餌利用特性, 土木学会論文集G (環境), 75, 7, III 367-374.
- 18) Nomura, K., Madokoro, H., Chiba, T., Inoue, M., Nagayoshi, T., Kiguchi, O., Woo, H., Sato, K. (2019) Operation and Maintenance of In-Situ CO<sub>2</sub> Measurement System Using Unmanned Aerial Vehicles, ICCAS 2019-19th International Conference on Control, Automation and Systems, 992-997.
- 19) Chiba, T., Haga, Y., Inoue, M., Kiguchi, O., Nagayoshi, T., Madokoro, H., Morino, I. (2019) Measuring Regional Atmospheric CO<sub>2</sub> Concentrations in the Lower Troposphere with a Non-Dispersive Infrared Analyzer Mounted on a UAV, Ogata Village, Akita, Japan, ATMOSPHERE, 10 (487), 1-17.

## 書 籍

- 1) 谷口吉光 (2022) 八郎湖はなぜ干拓されたのか, 秋田魁新報社, 2022年

## 報 告 書

- 1) 永吉武志: 令和2年度水質保全計画策定等業務委託に関する報告書「排水路の土壌調査と維持管理手法の検討」, NPO法人土壌・水資源環境研究所, 2021年
- 2) 永吉武志: 令和2年度水質保全計画策定等業務委託に関する報告書「方上地区G3圃場の整備におけるイトクズモの保全対策」, NPO法人土壌・水資源環境研究所, 2021年
- 3) 永吉武志: 令和3年度水質保全計画策定等業務に関する報告書「農業車両による道路の損傷調査」, NPO法人土壌・水資源環境研究所, 2021年
- 4) 宮田直幸, 岡野邦宏, 木口倫, 堀江好文, 永吉武志, 高橋正, 石川祐一, 早川敦: 令和2年度学長プロジェクト (部局提案型) 報告書「八郎湖生態系に影響を及ぼす環境因子の解析とその低減手法に関する研究」, 秋田県立大学, 2021年
- 5) 岡野邦宏: 2019年度受託研究報告書「アオコ起因底質調査」, 秋田県, 2020年

## 学会発表

- 1) 新田真弓, 藤林恵, 高田芳博, 渡邊美穂, 岡野邦宏, 宮田直幸: ワカサギを指標とした湖沼間の高度不飽和脂肪酸供給量の比較, 第56回日本水環境学会年会 (オンライン), 2022年3月18日.
- 2) 岡野邦宏, 小坂亮介, 渡邊美穂, 宮田直幸: 秋田県八郎湖で発生したアオコの海水中での分解と細菌との関係, 第56回日本水環境学会年会 (オンライン), 2022年3月18日.
- 3) 大関高広, 岡野邦宏, 渡邊美穂, 宮田直幸: 湖沼底質における*Microcystis*属の長期的な分解と細菌叢の変化, 第56回日本水環境学会年会 (オンライン), 2022年3月18日.
- 4) 菅原巧太郎, 大関高広, 岡野邦宏, 渡邊美穂, 宮田直幸: 八郎湖におけるタテボシガイのグロキディウム幼生由来環境DNAと成員密度の関係, 第56回日本水環境学会年会 (オンライン), 2022年3月18日.
- 5) Hayakawa, A., Asano, R., Murano, H., Ishikawa, Y., Takahashi, T. Catchment topography and the distribution of electron donors for denitrification control the nitrate concentration in headwater streams and the denitrification hotspot of the Lake Hachiro watershed, Japan, Landscape 2021, Leibniz Centre for

- Agricultural Landscape Research, Germany (online), Sep. 20-22 (2021).
- 6) Hayakawa, A., Minato, H., Hosokawa, N., Ishikawa, Y., Takahashi, T. Concentration of fractionated phosphorus in riverbed sediments in a coastal mountain region in Akita, Japan, Eurosoil 2021, Geneva (online), Aug. 23-27 (2021).
  - 7) 早川敦, 湊晴香, 村上直樹, 石川祐一, 高橋正: 秋田沿岸の海成堆積岩および火成岩集水域における河川堆積物の化学組成と出水時のリン流出, 日本土壌肥料学会 (オンライン), 札幌, 2021年9月14日-16日.
  - 8) 木口倫, 吉田真, 齋藤康樹, 岡野邦宏, 西川弘之, 高橋政之, 宮田直幸: 八郎湖流域における浸透移行性殺虫剤とその代謝物の濃度レベルと地点分布, 第29回環境化学討論会 (オンライン), 大阪, 2021年6月1-3日.
  - 9) 細川奈々枝, 奥野駿矢, 高階史章, 早川敦: 八郎湖干拓地のクロマツ防風林における土壌からの亜酸化窒素ガス放出量, 日本森林学会 (オンライン), 2021年3月19-23日.
  - 10) 岡野邦宏, 荒木美穂, 藤林恵, 宮田直幸: 秋田県八郎湖の底質表層におけるアオコ形成藻類を含む細菌叢の季節変動, 第55回水環境学会年会 (オンライン), 2021年3月10日.
  - 11) 橋本晃一, 岡野邦宏, 藤林恵, 渡邊美穂, 宮田直幸: 秋田県八郎湖で発生したアオコの分解に及ぼす海水の影響, 第55回水環境学会年会 (オンライン), 2021年3月10日.
  - 12) 大関高広, 岡野邦宏, 渡邊美穂, 宮田直幸: 湖沼底質における *Microcystis* 属の分解に及ぼす水温と底質環境の影響, 第55回水環境学会年会 (オンライン), 2021年3月11日.
  - 13) 新田真弓, 青森壮汰, 藤林恵, 高田芳博, 渡邊美穂, 岡野邦宏, 宮田直幸: 湖沼生態系の健全性評価指標の開発に向けたワカサギ脂肪酸組成の解析, 第55回水環境学会年会 (オンライン), 2021年3月12日.
  - 14) 菅原巧太朗, 岡野邦宏, 渡邊美穂, 宮田直幸: グロキディオウム幼生由来環境DNAを用いたタテボシガイのモニタリング手法の開発, 第55回水環境学会年会 (オンライン), 2021年3月11日.
  - 15) 吉田真, 齋藤康樹, 山野樹, 西川裕之, 高橋政之, 小野寺明, 井上誠, 木口倫: 八郎湖流入河川におけるネオニコチノイド系農薬の流出実態, 第55回水環境学会年会 (オンライン), 2021年3月10-12日.
  - 16) Sugawara, K., Fujibayashi, M., Enda, Y., Okano, K., Ichinoseki, S., Taniguchi, Y., Miyat, N.: Assimilation of cyanobacteria by a freshwater bivalve, *Nodularia douglasiae*: evaluation in laboratory and field experiments. Livestock Waste 2020 (online), March 27-28, (2021).
  - 17) 新田真弓, 青森壮汰, 藤林恵, 高田芳博, 渡邊美穂, 岡野邦宏, 宮田直幸: 湖沼生態系における $\omega$ 3脂肪酸供給量の評価指標の開発に向けたワカサギ脂肪酸組成の解析, 日本陸水学会第85回大会 (オンライン), 2021年9月21日.
  - 18) 菅原巧太朗, 佐々木勇太, 岡野邦宏, 遠田幸生, 渡邊美穂, 宮田直幸: 淡水二枚貝タテボシガイの異なる温度・餌料濃度条件における藍藻資化速度の定量, 第57回日本水処理生物学会 (オンライン), 2021年10月30日.
  - 19) 岡野邦宏, 松尾歩, 岩谷文香, 千葉崇, 宮田直幸: 秋田県八郎湖の底質コアにおけるアオコ形成藻類を含む細菌叢の年代変化, 第57回日本水処理生物学会 (オンライン), 2021年10月29日.
  - 20) 鎌田洋平, 谷口吉光: 秋田県八郎湖のゲーム教材「はちりバ〜Hachiro Revival〜」による環境学習の取組み, 日本環境教育学会東北支部会, 2020年2月29日.
  - 21) 新田真弓, 藤林恵, 青森壮汰, 岡野邦宏, 高田芳博, 宮田直幸: 湖沼の餌環境がワカサギの脂肪酸組成に与える影響, 第54回日本水環境学会年会 (誌上発表), 2020年3月16日.
  - 22) 吉田亨, 藤林恵, 田中仁志, 岡野邦宏, 高田芳博, 宮田直幸: 富栄養湖沼八郎湖におけるイシガイ幼生の宿主利用と稚貝の生息状況, 第54回日本水環境学会年会 (誌上発表), 2020年3月16日.
  - 23) 橋本晃一, 藤林恵, 岡野邦宏, 宮田直幸: 秋田県沿岸域の食物網における陸域由来有機物の餌と

- しての寄与, 第54回日本水環境学会年会 (誌上発表), 2020年3月16日.
- 24) 岩谷文香, 岡野邦宏, 千葉貴文, 千葉崇, 宮田直幸: 八郎湖底質コアにおける*Microcystis*属rRNAの鉛直分布と回帰ポテンシャル, 第54回日本水環境学会年会 (誌上発表), 2020年3月16日.
  - 25) 青森壮汰, 藤林恵, 新田真弓, 高田芳博, 岡野邦宏, 宮田直幸: 八郎湖の食物網における藍藻由来有機物の移行経路の特定, 第54回日本水環境学会年会 (誌上発表), 2020年3月16日.
  - 26) 岡野邦宏, 千葉貴文, 岩谷文香, 藤林恵, 宮田直幸: 秋田県八郎湖の流入河川におけるアオコの発生とその要因解析, 第54回日本水環境学会年会 (誌上発表), 2020年3月16日.
  - 27) 菅原巧太朗, 岡野邦宏, 宮田直幸: 淡水二枚貝タテボシガイ*Nodularia nipponensis*のDNA放出特性, 環境DNA学会第3回大会 (オンライン), 2020年11月15日.
  - 28) 新田真弓, 藤林恵, 青森壮汰, 岡野邦宏, 宮田直幸: 八郎湖におけるワカサギのゾウミジンコに対する捕食の有無と選択性の評価, 第57回環境工学研究フォーラム (オンライン), 2020年12月9日.
  - 29) 岡野邦宏, 松尾歩, 岩谷文香, 藤林恵, 宮田直幸: 秋田県八郎湖の底質コアにおける細菌叢の鉛直変化, 日本陸水学会第84回大会 (金沢市, 金沢大学), 2019年9月30日.
  - 30) 岩谷文香, 岡野邦宏, 千葉貴文, 藤林恵, 岡野邦宏, 宮田直幸: 八郎湖底質に堆積した*Microcystis*属細胞の回帰ポテンシャル, 日本水処理生物学会第56回大会 (金沢市), 2019年11月9日.
  - 31) 菅原巧太朗, 藤林恵, 千葉貴文, 岡野邦宏, 宮田直幸: 安定同位体比及びFDA染色を用いた淡水二枚貝イシガイの藍藻処理能の評価, 日本水処理生物学会第56回大会 (金沢市), 2019年11月9日.
  - 32) 鎌田洋平, 谷口吉光: 秋田県八郎湖流域におけるNPO法人はちろうプロジェクトの環境学習プログラムの実践, 日本環境教育学会 (北杜市, 北杜市立甲陵高等学校), 2019年8月24日.
  - 33) Hayakawa, A., Murakami, N., Shiraiwa, Y., Ishida, T., Ishikawa, Y., Takahashi, T. Hot spots of in-stream phosphorus in a coastal mountain region with marine sedimentary rocks, Akita, Japan, European Geosciences Union, Austria Center Vienna, Vienna, Apr. 7-12 (2019).
  - 34) 細川奈々枝, 早川敦, 石川祐一, 高橋正: 河畔スギ林土壌を用いた土壌無機態リン抽出量のHedley法と関谷法の比較, 日本土壌肥料学会東北支部会, 南相馬市民情報交流センター, 南相馬市, 2019年7月2-3日.
  - 35) 細川奈々枝, 小澤優花, 早川敦, 石川祐一, 高橋正: 秋田県八郎湖森林源流域における形態別土壌リンの空間分布に影響をおよぼす要因の検討, 日本土壌肥料学会, 静岡大学, 静岡市, 2019年9月3-5日.
  - 36) 早川敦, 村上直樹, 白岩康成, 石川祐一, 高橋正: 秋田沿岸の海成堆積岩地帯の溪流水リンホットスポットの要因解明, 日本土壌肥料学会, 静岡大学, 静岡市, 2019年9月3-5日.

## 博論・修論・卒論

### 博士論文

- 1) 菅原巧太朗 (2022) 淡水二枚貝タテボシガイの藍藻資化能の評価と環境DNAを用いた湖沼におけるモニタリング手法に関する研究, 2021年度秋田県立大学大学院博士論文, 2022年3月.

### 修士論文

- 1) 新田真弓 (2022) ワカサギを用いた湖沼における高度不飽和脂肪酸供給量の評価, 2021年度秋田県立大学大学院修士論文, 2022年3月.
- 2) 橋本晃一 (2021) 秋田県八郎湖で発生したアオコの分解メカニズムにおける塩分と微生物の寄与, 2020年度秋田県立大学大学院修士論文, 2021年3月.
- 3) 青森壮汰 (2020) 富栄養湖沼八郎湖の食物網における藍藻移行経路の解明, 2019年度秋田県立大学大学院修士論文, 2020年3月.
- 4) 岩谷文香 (2020) 八郎湖底質コアにおける*Microcystis*属細胞の鉛直分布と回帰ポテンシャル, 2019

年度秋田県立大学大学院修士論文，2020年3月。

- 5) 吉田亨 (2020) 富栄養湖沼八郎湖におけるイシガイ個体群の再生産に関する研究，2019年度秋田県立大学大学院修士論文，2020年3月。

## 卒業論文

- 1) 五十嵐遥 (2022) 秋田県八郎湖のミジンコ等微小動物のアオコ捕食に関する基礎検討，2021年度秋田県立大学卒業論文，2022年3月。
- 2) 小坂亮介 (2022) 船越水道へ流出したアオコの分解における海水性微生物の寄与，2021年度秋田県立大学卒業論文，2022年3月。
- 3) 熊谷洗希 (2022) 閉鎖型消波工及び土嚢を設置した八郎湖湖岸のヨシ帯再生地点の特徴，2021年度秋田県立大学卒業論文，2022年3月。
- 4) 佐々木拓摩 (2022) 八郎湖におけるリンの湖内溶出量推定，2021年度秋田県立大学卒業論文，2022年3月。
- 5) 沼沢太雅 (2022) タテボシガイにおける物理環境の選好性に関する実験 - 八郎湖産個体の流下応答性 -，2021年度秋田県立大学卒業論文，2022年3月。
- 6) 井上明香里 (2022) もみ殻くん炭を用いた非晶質ケイ酸カルシウム水和物による水質浄化材の開発，2021年度秋田県立大学卒業論文，2022年3月。
- 7) 河田歩 (2022) 非晶質ケイ酸の溶解特性とケイ酸が固相リンの可溶化に及ぼす影響，2021年度秋田県立大学卒業論文，2022年3月。
- 8) 藤城万凡 (2022) ポリ塩化アルミニウム (PAC) による八郎湖の水質改善のための基礎研究，2021年度秋田県立大学卒業論文，2022年3月。
- 9) 花村遼大 (2022) 八郎湖流域における浸透移行性殺虫剤とその代謝物の濃度実態，2021年度秋田県立大学卒業論文，2022年3月。
- 10) 宇積佳代 (2021) タテボシガイの物理的環境の選好性に関する実験的研究，2020年度秋田県立大学卒業論文，2021年3月。
- 11) 山口大成 (2021) 八郎湖の水質改善のための水位低減策，2020年度秋田県立大学卒業論文，2021年3月。
- 12) 大関高広 (2021) 湖沼底質における*Microcystis*属の生存に及ぼす水温と底質環境の影響，2020年度秋田県立大学卒業論文，2021年3月。
- 13) 佐々木勇太 (2021) 富栄養化湖沼在来二枚貝タテボシガイの藍藻資化速度の評価，2020年度秋田県立大学卒業論文，2021年3月。
- 14) 奥野駿矢 (2021) ポリ塩化アルミニウム (PAC) による八郎湖の底質からのリン溶出と藻類の抑制 - 添加アルミニウム濃度の検討 -，2020年度秋田県立大学卒業論文，2021年3月。
- 15) 桑原沙季 (2021) ケイ酸添加が八郎湖干拓地土壌中のリン及び溶存有機炭素濃度に及ぼす影響，2020年度秋田県立大学卒業論文，2021年3月。
- 16) 小笠原健太 (2021) ドローンによって得られた大潟村上空のCO<sub>2</sub>濃度水平分布の季節的特徴，2020年度秋田県立大学卒業論文，2021年3月。
- 17) 深澤 諒 (2020) 八郎湖環境学習への探究型学習の応用，2019年度秋田県立大学卒業論文，2020年3月。
- 18) 千葉貴文 (2020) 馬踏川河川床における*Microcystis*属の現存量と回帰ポテンシャル，2019年度秋田県立大学卒業論文，2020年3月。
- 19) 新田真弓 (2020) 湖沼の餌環境がワカサギの脂肪酸組成に与える影響，2019年度秋田県立大学卒業論文，2020年3月。

- 20) 吉田美沙希 (2020) 海洋沿岸帯の懸濁物質に対する陸域由来リノール酸・リノレン酸の寄与, 2019年度秋田県立大学卒業論文, 2020年3月.
- 21) 大門龍也 (2020) ドローンを用いた大潟村上空における二酸化炭素の水平分布観測, 2019年度秋田県立大学卒業論文, 2020年3月.
- 22) 湊晴香 (2020) 秋田西部山地の海成堆積岩および火成岩からなる集水域における河川堆積物中のリン化学形態, 2019年度秋田県立大学卒業論文, 2020年3月.
- 23) 油谷真子 (2020) ポリ塩化アルミニウムとポリシリカ鉄による八郎湖底質からのリン溶出抑制, 2019年度秋田県立大学卒業論文, 2020年3月.

#### 出張講義・講演

- 1) 菅原巧太朗 (2021) イシガイ科二枚貝タテボシガイのDNA放出特性及び富栄養化湖沼八郎湖における環境DNAの検出, 2021年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会, オンライン, 2021年9月20日.
- 2) 岡野邦宏 (2021) 八郎湖のアオコ発生状況とその抑制に関する研究, 湖沼の在り方とその復活方法に関するワークショップ, オンライン, 2021年12月15日.
- 3) 谷口吉光 (2021) 八郎潟干拓物語, 秋田公立美術大学 (オンライン), 2021年5月17日.
- 4) 谷口吉光 (2019) 八郎湖の再生と流域ガバナンス, 日本水環境学会東北支部セミナー, 秋田県総合保健センター, 秋田市, 2019年11月30日.
- 5) 岡野邦宏 (2019) 八郎湖の水および底質におけるアオコ形成藻類の動態について, 2019年度第1回あきた環境懇話会, 秋田市, 2019年6月1日.
- 6) Okano, K (2019) Study on the sedimentation and recruitment of *Microcystis* sp. to control the harmful algal blooms, 7th Busan Global Water Forum, BEXCO Conventional Hall, Busan, Aug 19. (招待講演)
- 7) 岡野邦宏 (2019) 八郎湖におけるアオコの特徴や発生状況について, 日本水環境学会東北支部セミナー, 秋田市, 2019年11月30日.
- 8) 早川敦 (2019) 東北日本海に面した八郎湖流域におけるリン動態の特徴と一考察, 指定湖沼八郎湖の現状と課題, 日本水環境学会東北支部セミナー, 秋田市, 2019年11月30日.

#### その他

- 1) 谷口吉光 (2021) 公開フォーラム企画, モグリウム成果報告会, はちパル (八郎潟町), 2021年2月13日.
- 2) 谷口吉光 (2021) 「八郎潟のモグを見たか」, 北羽新報, 2021年4月21日.
- 3) 谷口吉光 (2020) 公開セミナー企画・コーディネーター, 八郎太郎伝説の魅力 再発見, 八郎潟・八郎湖学研究会主催, 八郎潟農村環境改善センター, 2020年11月3日.
- 4) 谷口吉光 (2019) 八郎潟・八郎湖学研究会 ミニ研究会「八郎太郎伝説の謎に迫る」のファシリテーター, 秋田県立大学, 2019年11月12日.
- 5) 谷口吉光 (2019) 総合司会、潟の思い出を語る会、自性院 (潟上市)、2019年12月1日.